

委員会視察成果報告書

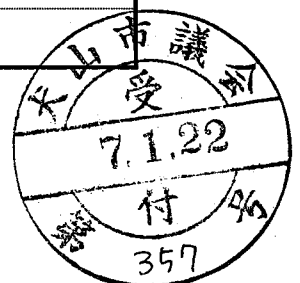
2025年1月22日

犬山市議会議長
柴田 浩行 様

議員名 増 田 修 治

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2025年 1月 14日(火) ～ 2025年 1月 15日(水) (1泊 2日)
(2) 視 察 地	京都府京丹後市 峯山庁舎
(3) 視察の種類	常任委員会 (総務委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	地域公共交通について伺ってきました。京丹後市は、市の面積が合併に伴い約500km²と非常に広く、高齢化及び人口減少の激しい地区があり、公共交通確保の為の様々な政策が取られています。 路線バスの上限を200円とし、気軽に乗れる地域の足となる交通となっており、高校生などの乗車も多く、定着していました。また、Mobiという予約制の乗り合いタクシーアプリを導入し、主要エリア内で簡単にタクシーを手配出来、これも地域の足となっています。 日本海側の旧丹後町地域は、街の中心地に比べ、高齢化率も非常に高くなっており、タクシー会社も撤退したエリアです。「地域の公共交通は、住民福祉施策」といった考えの元、不便なエリアでも住民の方が安心して、中心地や病院に行くことが出来る様、日本で初めてUBERと協働して、地域の交通を支えています。バス・乗り合いタクシー、UBERでの公共交通など様々な手法を用いて、地域の公共交通を福祉として捉え、取り組まれています。
(5) 犬 山 市 に 対する提言	「地域の公共交通は住民福祉施策」といった考えは、過疎地域に住む方々が安心して末永くお住まい頂く為にも重要な観点であると感じます。特に、足腰の悪い方などは、バス停まで歩いていくことも大変ですし、公共交通が不足することは更なる過疎を招いてしまいます。住民人口が減少傾向にある地域においても福祉サービスの一環として公共交通網を切らすことの無い施策に期待します。



委員会視察成果報告書

2025年1月22日

犬山市議会議長
柴田 浩行 様

議員名 増 田 修 治

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2025年 1月 14日(火) ～ 2025年 1月 15日(水) (1泊 2日)
(2) 視 察 地	京都府京丹後市 NPO法人 気張る！ふるさと丹後町
(3) 視察の種類	常任委員会（総務委員会）
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	丹後町は、京丹後市の中でも日本海側に位置し、交通の便が悪く、市内において高齢化率が最も進んだ地域です。中心地からのバスはあるが、幹線道路のみを走っており、本数も少ない為、住宅地も不便なエリアが多いです。そこで、日本で初めてUBERと協働し、「ささえ合い交通」が運行されました。これは、地域の方の自家用車を用いて、アプリを介してドアトゥドアで利用出来るサービスです。 丹後町には病院や買い物施設もないことから、高齢者にとって有益なサービスとなっており、また観光客も利用をしております。 この仕組みの大きな点は、行政が負担をせず、NPO法人として運営しているところです。非常に地域としても重要な役割を担っており、成功した事例のようにも見られるが、法人の担当者の負担は非常に大きく、マンパワーに頼っているところは否めません。 我々も実際に乗車してみて、地域住民の方がドライバーであることから地域の方々も安心して利用出来ていると感じます。
(5) 犬 山 市 に 対する提言	「地域を支えたい」といった熱い想いをを持った担当者には非常に感銘を受けました。ですが、そうした想いを次世代へと繋いでいくことが大きな課題であるとも思います。これは様々な政策にも繋がると思うが、構築したスタッフの想いを繋ぐことの出来る仕組みが大切であると感じます。当市においても様々新たな取組みを行っているが、その想いを繋ぐことの出来る人財育成に期待します。